

【概ね5年で実施する取組】【西北圏域】

◎:実施済、実施中 ○:(H00~H00)今後実施 △:(H00~)今後検討 △:(-)未定 □:対象外  
 凡例  :各構成員において対応する項目  
 :該当する構成員において検討する項目

未定稿につき取扱注意

資料4  
 様式-1  
 西北圏域

(1)円滑かつ迅速な避難のための取組

① 情報伝達、避難計画等に関する事項

主な取組項目	実施事項	実施時期	五所川原市		中泊町		鯉ヶ沢町		深浦町		気象台		青森県(防災危機管理課)		青森県(河川砂防課)		
			実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	
洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	ホットライン構築	1, 2, 6, 7	実施済	今年度から、青森県知事(河川管理者)と市長(代理として防災担当の総務部課長)のホットラインの整備を進めている。	◎	実施中	◎	実施済	継続実施	◎	実施済	実施済	◎	実施済	実施済	◎	
	ホットラインの運用についての検討	1, 2, 6, 7	継続実施	運用実績が少ないが、情報を生かせるように運用方法を検討していく。	◎	実施中	◎	継続実施	◎	実施中	◎	実施中	◎	実施中	運用中	◎	
避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(水害対応タイムライン)	水害対応タイムラインの作成	1	実施中	磯松川に限定するものではないが、平成28年度に青森河川国道事務所の協力のもとに河川水害対応のタイムラインを作成し、平成29年度災害発生時に運用・随時修正を行っている。(タイムラインは非公表)	◎	H30~R03	◎	継続実施	◎	H30~R03	◎	実施中	◎	H29	中村川水系中村川(鯉ヶ沢町)で作成	○	
	水害対応タイムラインを活用した避難訓練の実施	1, 2	実施中	作成したタイムラインをもとに、市総合防災訓練のシナリオや各員の動きを想定している。	◎	H30~R03	◎	実施済	◎	R01	◎	H29~R03	◎	実施中	訓練に参加し、実態に即したのものとなるようタイムラインの見直しの支援を行う。	◎	
	土砂災害における警戒体制の強化、及び行動計画作成支援	1, 追3	H31~	警戒体制の強化に向け、対象範囲の町内会と連携し、警戒区域内の世帯名簿、連絡網の作成に着手する。	◎	-	◎	△	R01~	△	実施中	◎	-	◎	市町村からの問合せ等について必要な支援を行う	△	
	避難勧告・指示等のタイミングに関するルール作り・検討	1, 2	実施中	避難行動等の判断・伝達マニュアルを作成したが、災害発生時に勧告・指示等のタイミングが遅れていることもあり、検討・見直しが必要である。	◎	H30~R03	◎	◎	◎	◎	◎	H29~R03	◎	◎	実際に避難勧告・避難指示を行う市町村に対し、必要な助言を行う。	◎	
	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	9	-	現在は県や気象台等から公表されるものを利用している。	◎	-	◎	-	◎	-	◎	◎	◎	◎	実施済	実施済	◎
	水害危険性の周知促進(水位周知河川の拡大、危機管理型水位計の設置)	2, 5, 11, 6, 13	-	今後検討(整備するかは未定)	△	-	△	-	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
ICT等を活用した洪水情報の提供	ICT等を活用した洪水情報の提供	1, 2, 7	実施中	緊急連絡メールで市内住民へ情報提供を行っている。また、平成29年8月から市facebook、市防災twitterを開設し、災害状況の提供に運用している。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	1, 2, 7, 8, 9	実施中	平成29年8月から市facebook、市防災twitterを開設し、運用している。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	わかりやすい洪水予報文への改良	7, 8, 9	実施済	例文を作成し、既存の文面の見直しを行った。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	マスメディアと連携して点検会議を開催	7	-	△	R01~	◎	-	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
警戒レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
防災施設の機能に関する情報提供の充実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ダム放流情報を活用した避難体系の確立	3	R02~	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	◎	-	
土砂災害警戒情報の補完	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
避難計画作成の支援ツールの充実	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
隣接市町村における避難場所の指定(広域避難体制の構築)等	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施	11, 12	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

② 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する事項

主な取組項目	実施事項	実施時期	五所川原市		中泊町		鯉ヶ沢町		深浦町		気象台		青森県(防災危機管理課)		青森県(河川砂防課)	
			実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応
浸水想定区域等の早期指定、浸水想定区域図等の作成・公表	想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図等の作成と周知	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	県土整備部所管ダムの下流部における浸水想定図を作成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	土砂災害警戒区域指定の前掲となる基礎調査を完了	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高潮浸水想定区域の指定・公表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハザードマップの改良、周知、活用	水害ハザードマップの作成、周知	3, 4, 5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	水害ハザードマップの訓練への活用	3, 4, 5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	土砂災害ハザードマップの作成	12	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	津波・高潮ハザードマップの作成	12, 追1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【概ね5年で実施する取組】【西北圏域】

◎:実施済、実施中 ○:(H00~H00)今後実施 △:(H00~)今後検討 △:(-)未定 □:対象外

凡例 □:各構成員において対応する項目  
■:該当する構成員において検討する項目

未定稿につき取扱注意

資料4  
様式-1  
西北圏域

主な取組項目	実施事項	実施時期	五所川原市			中泊町			勢ヶ沢町			深浦町			気象台			青森県(防災危機管理課)			青森県(河川砂防課)						
			実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応					
既に保有する浸水実績等の共有、住民への周知	過去の浸水実績に係る情報提供	4, 5, 11	—	浸水実績無し	△	—	過去の浸水実績は把握していない	△	継続実施	防災講演会、出前講座等において住民へ情報提供を行っている。	◎	H30~	深浦町広報誌・HPへ公開を検討	△									実施済	過去の浸水実績に係る情報提供	◎		
ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	洪水浸水想定区域図をポータルサイトへ掲載	3, 追2																					実施中	県内35河川(洪水予報河川15河川、水位周知河川31河川)について洪水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)の公表後速やかに県庁ホームページへ掲載し、ポータルサイトに順次掲載する。	◎		
	高潮浸水想定区域図をポータルサイトへ掲載	追2																					—	今後検討(必要に応じて検討)	△		
災害リスクの現地表示	まるとまちごとハザードマップ整備・作成	9	R02~	新想定公表後、看板設置等を検討する。	△	—	今後検討(必要に応じて検討)	△	—	作成を検討する。	△	—	今後検討(必要に応じて検討)	△									R02~	今後検討(必要に応じて検討)	△		
防災教育の促進(指導計画を関係市町村の全ての学校に共有)	指導計画を関係市町村の全ての学校に共有	8, 9, 11	H30		○	R02	実施予定(国のマニュアルを参考に指導計画を作成し、管内小中学校と共有)	○	H30	県河川砂防課と協力し作成する。	○	H30	実施予定(国のマニュアルを参考に指導計画を作成し、管内小中学校と共有)	○									H30	国の支援により作成した指導計画を、協議会の関連市長村における全ての学校に共有。	○		
	防災教室・訓練の実施	8, 9, 11	R02~		△	実施中	実施中(公民館事業と合同で管内の小学生を対象に防災教室を実施)	◎	継続実施	町内小中学校に弘前大学から講師を呼び防災教室を開催している。	◎	R02~	川及び水路、池周辺の危険性について、夏休み前に周知する施策を検討する。	○	H29~R03	要望に応じ、随時協力する。	○	H29~	教育関係部局等と連携し、防災に関する説明会、訓練等の開催や補助を行う。	◎	継続実施	川の防災安全教室を開催、その他要望があれば実施	◎				
	出前講座等を活用した講習会の実施	8, 9, 11	R02~		△	H30~R03	今後検討(必要に応じて水害に関する研修会を開催)	△	継続実施	町内会や各種グループを対象に出前講座を開催している。	◎	H30~	要望地区があれば、出前講座を要望する	○	H29~R03	要望に応じ、随時協力する。	○	H29~	出前講座を開催し、過去の災害事例や災害時の行動、日頃の備え等の防災教育を行う。	◎	継続実施	要望があれば実施	◎				
水防災の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置		—	R02~		△	—	今後検討(設置するかは未定)	△	継続実施	消防団(水防団)と消防、役場防災班と連携し防災班で窓口となっている。	◎	—	今後検討(設置するかは未定)	△									継続実施	河川砂防課企画・防災G	◎		
避難訓練への地域住民の参加促進	防災情報等を活用した住民参加型の避難訓練等について情報共有	追2	実施中	市総合防災訓練など各種訓練に住民の参加を促す。	◎	実施中	国や県のポスター等を活用し、関係団体や住民へ情報共有していく。	◎	実施中	町総合防災訓練へ毎月配布及び防災行政無線で参加の呼びかけを実施し各町内会長への説明会を実施している。	◎	実施中	住民参加型の総合防災訓練及び津波避難訓練を毎年実施	◎									令和元年8月27日に地震・津波を対象とした青森県総合防災訓練を三沢市で開催し、市内の保育園や小中学校、町内会・自主防災会の参加・連携の下、避難・誘導訓練を実施した。	◎	—	要望があれば市町村へ情報提供	△
共助の仕組みの強化	自主防災組織、福祉関係者、水防団等による避難訓練を実施	追2	R02~	各団体へ避難訓練実施を促す。また、市総合防災訓練への参加を促す。	○	実施中	県や他団体からの研究等を周知するとともに、独自の訓練等を推進していく。	◎	実施中	町総合防災訓練へ自主防災組織、福祉施設、水防団へ個別に参加を呼び掛けている。	◎	実施中	同上訓練に、毎年参加	◎									令和元年8月27日に地震・津波を対象とした青森県総合防災訓練を三沢市で開催し、市内の保育園や小中学校、町内会・自主防災会の参加・連携の下、避難・誘導訓練を実施した。	◎	—	要望があれば市町村へ情報提供	△
	地域包括支援センター等にハザードマップの掲示、防災関連パンフレット設置	追2	R02~	コミュニティセンターなどの公共施設に防災関連パンフレットを設置する。またR02作成予定の洪水ハザードマップが完成次第掲示する。	○	R01~	今後、掲示・設置を相談していく。	○	実施中	地位包括支援センターへ各種ハザードマップを配布し、包括支援センターから各ケアマネージャーへの連絡体制を整えている。	◎	R01~	包括支援センターへ防災関連パンフレットを常時設置	○													
住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	水害・土砂災害リスクに関する専門家による支援	追4	R02~	専門家への依頼内容や実施方法について検討する。	△	—	住民向けの講演や研修会があれば実施していきたい。	△	R02~	出前講座では説明しているが、具体策は今後検討する。	△	R02~	NPO法人日本防災師会等に依頼し、住民の避難計画、避難所行動マニュアル等の講習	○	実施中	出前講座、講師派遣で対応している。	◎	—	市町村からの問合せ等について可能な形で対応	△	H28~R02	要望があれば実施	△				
地域防災力の向上のための人材育成	専門家リストの作成、要請に応じて専門家の派遣	追4	R02~	青森県、国が実施する研修等へ、自主防災会、関係団体等の構成員の出席を促す。	△	—	専門家となりえる人材の育成を、研修等を通して進めていきたい。	△	R02~	今後、防災士受講補助などを検討する。	△	実施中	自主防災会員による、消防学校等への防災研修等の積極的参加	◎	実施中	出前講座、講師派遣で対応している。	◎	実施中	青森県の防災アドバイザーである大学教員を招き、防災力向上を目的とした自主防災組織や住民向けの講演などを実施した。	◎	継続実施	要望があれば実施	◎				

③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

主な取組項目	実施事項	実施時期	五所川原市			中泊町			勢ヶ沢町			深浦町			気象台			青森県(防災危機管理課)			青森県(河川砂防課)				
			実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応			
洪水予測や水位情報の提供の強化	危機管理型水位計の整備	6, 13	—	今後検討(整備するかは未定)	△	—	今後検討(整備するかは未定)	△	—	県河川砂防課と協力し設置を検討する。	△	実施済	町内6河川に設置完了	◎									実施済	危機管理型水位計を設置	◎
	河川監視用カメラの整備	6, 13	—	今後検討(整備するかは未定)	△	—	今後検討(整備するかは未定)	△	—	県河川砂防課と協力し設置を検討する。	△	—	今後検討(整備は未定)	△									R01~R02	河川監視用カメラを整備(設置箇所今後検討N=4箇所)	○
	水文観測所の停電対策	6, 13, 追5																					実施済	洪水予報河川、水位周知河川について実施済み	◎
防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等情報伝達手段の整備	防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等情報伝達手段の整備。(海岸線沿いは整備済み、内陸部に増設する予定。)	10	R01~	防災行政無線整備事業を実施。(海岸線沿いは整備済み、内陸部に増設する予定。)	○	実施中	実施中(防災行政無線(同報系・移動系)デジタル整備済、戸別受信機毎月設置)	◎	R01	現在アナログ行政防災無線を整備しているが、平成32年度を目途にデジタル化及びメール配信システムの整備を行う。	○	R02~	防災行政無線に変わる既設IP通信網を活用した防災情報伝達システム(仮称)の導入の検討	○											
避難路、避難場所の安全対策の強化	土砂災害により避難所・避難路が被災する危険性の高い砂防堰堤等の整備等	—																					実施中	南浮田町区域特定土砂災害対策推進事業(勢ヶ沢町)外1箇所を実施	◎
応急的な避難場所の確保	緊急的な避難先を確保するための必要のある地域における避難場所の整備	—	R02~	必要のある地域の洗い出し、整理を行い、避難場所について検討する。	○	R02~	対象地域の確認を行っていく。	○	—	随時検討	△	—	必要性を継続的に検討	△											
河川防災ステーションの整備	河川防災ステーションの整備	—	—	今後検討(整備するかは未定)	△	—	今後検討(整備するかは未定)	△	—	県河川砂防課と協力し整備を検討する。	△	—	今後検討(整備は未定)	△									—	今後検討(必要に応じて検討)	△

(2)被害軽減のための取組

①水防体制に関する事項

主な取組項目	実施事項	実施時期	五所川原市			中泊町			勢ヶ沢町			深浦町			気象台			青森県(防災危機管理課)			青森県(河川砂防課)						
			実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応					
重要水防箇所や水防資機材等について、関係者が共同で点検	重要水防箇所や水防資機材等について、合同巡視を実施	15, 16	実施中	重要水防箇所について、県・河川国道事務所と合同で巡視をおこなっている。(県はH29から)	◎	実施中	実施予定(県と合同で重要水防箇所の巡視)※岩木川水系については実施中	◎	実施中	県河川砂防課と協力し消防団(水防団)役場建設課及び防災班で合同巡視を実施している。	◎	H29~	県が実施する重要水防箇所の合同巡視への参加及び情報共有	△									実施中	重要水防箇所の合同巡視を実施	◎		
	水防活動を支援するための水防資機材等の配備	15, 16	継続実施	水防活動に使用する土のうを整備している。	◎	実施中	実施中(土嚢や救命胴衣を整備済。必要に応じて追加配備)	◎	継続実施	水防活動を支援するための水防資機材等の配備している。	◎	実施済	携行式排水ポンプ×1の購入	◎										継続実施	水防資機材の配備を実施	◎	
	水防団や地域住民が参加する「洪水に對しリスクが高い区間」の共同点検		15, 16	継続実施	重要水防箇所の巡視について、水防団や地域住民の参加を促している。	◎	H30~R03	実施予定(合同巡視への共同参画)	○	実施中	県河川砂防課と協力し消防団(水防団)役場建設課及び防災班で合同巡視を実施している。	◎	—	今後検討(必要に応じて検討)	△												
水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)	水防団員の募集	14	継続実施		◎	実施中	実施中(水防団員(消防団員)の募集)	◎	継続実施	消防団を水防団業務としている。	◎	継続実施	町広報誌、水防団員を通じて継続的に募集を実施(実績:退団者16名、入団者13名)	◎													
	自主防災組織、企業の参画を促すため広報	14	継続実施	自主防災会結成へ向けた説明会や、資料の作成・配布を行っている。また、自主防災組織育成助成事業(市単独)やコミュニティ助成事業(室じ協会)を行っており、市のHPや広報で情報発信を行っている。	◎	実施中	実施中(自主防災組織結成に向けた説明会開催、組織に対する補助金助成)	◎	継続実施	広報及び防災講演会の場で自主防災組織の広報活動を行っている。企業についても防災講演会への参加を促し広報活動を実施予定。	◎	継続実施	町広報誌、水防団員を通じて継続的に募集を実施	◎									実施中	出前講座や各種講習会等を利用して、地域で防災を行うために自主防災組織や企業の参画の必要性を唱える。	◎		
関係機関、水防団等の技術力向上のため、水防工法訓練等に参加	水防団等の技術力向上のため水防工法訓練等に参加	15, 18	継続実施	市総合防災訓練や県主催の水防工法訓練等への参加を促している。	◎	H30~R03	実施予定(国が実施する水防工法訓練への水防団員参加)	○	—	県河川砂防課と協力し水防団へ訓練の参加を即す。	△	—	圏域合同による訓練等があれば、参加させたい	△										継続実施	国が実施する水防工法訓練に参加	◎	
	関係機関、住民による水防訓練、避難訓練の実施	15, 18	継続実施	市総合防災訓練や県主催の水防工法訓練等への参加を促している。	◎	H30~R03	実施予定(必要に応じて、浸水想定区域に含まれる町内会を対象に避難訓練を実施)	○	—	総合防災訓練の参加を即す。	△	—	圏域合同による訓練等があれば、参加させたい	△									実施中	関係機関が行う各種防災訓練の補助や助言等を行う。	◎	—	今後検討(必要に応じて検討)
水防団間での連携、協力に関する検討	水防団同士の連絡体制の確保	15, 16	継続実施		◎	実施中	実施中(SNSを活用して連絡態勢を確保)	◎	—	フリーのメール配信システムを使用し連絡体制の確保をしていますが消防団(水防団)同士の連絡体制の強化が必要のため今後検討する。	△	実施済	消防団メールシステム(登録制メール)によって、連絡体制を確保した。また、R02~同システムにおいて安否確認システムを追加導入し、団員の生命・参集状況をリアルタイムに集計できる体制を構築する。	◎													
	夜間時の急激な水位上昇を想定した水防団等への連絡体制の検討・構築	15, 16	継続実施		◎	実施中	実施中(SNSを活用して連絡態勢を確保)	◎	継続実施	フリーのメール配信システムを使用し連絡体制の確保をしています。	◎	実施済	消防団メールシステム(登録制メール)によって、連絡体制を確保した	◎													

【概ね5年で実施する取組】【西北圏域】

凡例 ◎:実施済、実施中 ○:(H00~H00)今後実施 △:(H00~)今後検討 △:(-)未定 □:対象外  
◎:各構成員において対応する項目  
◎:該当する構成員において検討する項目

資料4

様式-1  
 西北圏域

未定稿につき取扱注意

②多様な主体による被害軽減に関する取組

主な取組項目	実施事項	関係対応	五所川原市			中泊町			静ヶ沢町			深浦町			気象台			青森県(防災危機管理課)			青森県(河川砂防課)				
			実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応		
浸水想定区域内の市町村庁舎等において、各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法の検討	各施設管理者等に対する情報伝達体制・方法の検討	17	継続実施	市防災計画において非常時の情報伝達体制を整備しており、毎年度更新を行っている。	◎	実施中	実施中(職員初動マニュアルに基づき、職員メールで伝達)	◎	-	現在電話による連絡体制を実施している。今後連絡体制の強化を検討する。	△	R02~	防災行政無線に変わる既設IP通信網を活用した防災情報伝達システム(仮称)の導入の検討(登録制メールによって直接伝達可能)	○											
市町村庁舎等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	市町村庁舎等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	17	~R03	平成30年5月7日に新庁舎へ移転。金木総合支所も現庁舎の建替えが決定している。	◎	-	今後検討(必要に応じて検討)	△	H30~	現在庁舎の移転計画があり、機能強化を検討する。	△	-	庁舎の耐水化の必要性について、今後検討	△											
早期復興を支援する事前の準備	堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く多数の人命被害等が生じるおそれのある区間において、堤防強化対策を実施。樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消	-		既に非常用電源を設置している。	◎	実施済	実施済(非常用電源の整備)	◎	H30~	現在庁舎の移転計画があり、機能強化を検討する。	△	継続実施	庁舎隣接施設として、非常用電源設置済み。また、発電機を庁舎各支所に配置済み。一部発電機の保管場所を2階を指定	◎											
																							実施中	中村川水系(中村川)(静ヶ沢町)において3か年緊急対策に基づく樹木伐採を実施。	◎

③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組

主な取組項目	実施事項	関係対応	五所川原市			中泊町			静ヶ沢町			深浦町			気象台			青森県(防災危機管理課)			青森県(河川砂防課)						
			実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応				
排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等	19	-	今後検討(整備するかは未定)	△	-	今後検討(整備するかは未定)	△	-	排水施設、排水機材の老朽化等改善及び整備を検討する。	△	実施済	非常時において、水道課保有のエンジンポンプ×2、排水ポンプ×3を運用。携行用排水ポンプ×1を新たに購入	◎										H30~R03	非常時において、水道課保有のエンジンポンプ×2、排水ポンプ×3を運用、防災用としては検討しない。	○	
委託業者との協定締結	委託業者との協定締結	18, 19	-	今後検討(整備するかは未定)	△	実施中	実施中(町内外の建設業協会との協定締結)	◎	継続実施	応急復旧町内7社、物資供給町内外28社、広報・情報収集町内外3社、災害時要援護者避難施設町内4団体、情報通信・電力町内外3社、物資等輸送町内外3社、町内郵便局と協定を締結している。	◎	-	水防資材等の提供の協定策定済み。排水に関する協定を今後、検討する。	△											H30~R03	水防資材等の提供の協定策定済み。排水に関する協定を今後、検討する。	○
浸水被害軽減地区の指定	土地に係る情報(地形データや氾濫シミュレーション結果等)提供 浸水被害軽減地区の指定	-	-	今後検討(整備するかは未定)	△	-	今後検討(整備するかは未定)	△	-	県河川砂防課と協力し検討する。	△	-	今後検討(必要に応じて検討)	△													

④河川管理施設の整備等に関する対策

主な取組項目	実施事項	関係対応	五所川原市			中泊町			静ヶ沢町			深浦町			気象台			青森県(防災危機管理課)			青森県(河川砂防課)						
			実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応	実施時期	実施内容等	対応				
堤防等河川管理施設の整備(洪水氾濫を未然に防ぐ対策)	河川改修事業 河川維持工事(河床整理・雑木伐採等)																								継続実施	中村川広域河川改修事業を実施	◎
本川と支川の合流部等の対策	堤防決壊が発生した場合に浸水深が深く人命被害等が生じるおそれのある区間の堤防強化対策																								継続実施	河川維持工事(河床整理・雑木伐採等)を実施	◎
多数の家屋や重要施設等の保全対策	樹木・堆積土砂等に起因した氾濫の危険性を概ね解消																								実施中	中村川水系(中村川)(静ヶ沢町)において3か年緊急対策に基づく樹木伐採を実施。	◎
流木や土砂の影響への対策	透過型砂防堰堤等の整備																								実施中	北南中村川総合流域防災砂防事業(静ヶ沢町)を実施	◎
土砂・洪水氾濫への対策	土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所において砂防堰堤等の整備																										
決壊までの時間を少しでも引き延ばすための堤防構造の工夫(危機管理型ハード対策)	危機管理型ハード対策(堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強等)																								R01~	鳴沢川、赤石川、追良瀬川、笹内川において危機管理型ハード対策(堤防天端舗装工)を実施中。	◎
ダム等の洪水調節機能の向上・確保	県土整備部所管ダムの施設改良(既設ダムの嵩上げや放流能力の増強等)																								-	今後検討(必要に応じて検討)	△
重要インフラの機能確保	インフラ・ライフラインへの著しい被害を防止する砂防堰堤の整備 堤防高を確保するための対策、消波施設の整備(海岸)																								実施中	万年坂区域総合流域防災事業(深浦町)を実施	◎
樋門・樋管等の確実な運用体制の確保 河川管理の高度化の検討	津波浸水リスクの高い地域等において、水門の自動化・遠隔操作化 全天候型ドローンの配置																								-	今後検討(必要に応じて検討)	△
																									-	今後検討(必要に応じて検討)	△